

2020 年度「ALS 基金」研究奨励金交付対象の決定 ～研究奨励金の概要、研究テーマ、交付金額および交付者～

研究助成部会

1 「ALS 基金」研究奨励金の概要

ALS の原因究明と治療法の確立、療養生活の改善は、患者・家族の方々の大きな願いであり、当協会の目的でもあります。そのため、広く社会に呼びかけ、募金活動を行い平成 4 年度に「ALS 基金」(当初は「ジャルサ基金」)を設立しました。これを原資に「ALS 基金」研究奨励金を平成 7 年度に創設し、ALS の原因究明や治療法に関する研究、福祉機器開発に関する研究、看護・介護向上、療養環境の整備・改善に関する研究などへの助成を開始しました。2019 年度までに 9,138 万円(124 件)、内訳では原因・治療研究 6,601 万円(68 件)、福祉・看護・介護 2,537 万円(56 件)を交付しています。

2 2020 年度交付対象者

2019 年 12 月から 2020 年 1 月にかけて公募を行い、選考委員による審査の結果、以下のようになりました。

■応募件数:19 件

1. ALS の原因究明に関する研究 9 件
2. ALS の治療法に関する研究 4 件
3. ALS 患者の福祉機器開発に関する研究 2 件
4. ALS 患者の介護向上、療養環境の整備・改善に関する研究 4 件

■交付対象研究テーマ

分野Ⅰ 原因究明および治療法に関する研究 (100 万円を 3 件、計 300 万円)

(1) 運動神経回路における TDP-43 伝播機構の解明

新潟大学脳研究所・テニュアトラック 教授

上野 将紀 100 万円

(2) 変異 FUS 毒性への Ataxin2 の寄与の分子機構の解明と、患者 iPS 細胞を用いた治療薬開発を志向したスクリーニング

名古屋市立大学大学院薬学研究科 病態生化学分野 講師

築地 仁美 100 万円

(3) ALS および FTLT-D43 を血液で診断する疾患特異的分子マーカーの開発

京都府立医科大学 大学院医学研究科 神経内科学 講師

笠井 高士 100 万円

分野Ⅱ 福祉機器の開発及び看護・介護向上等に関する研究 (50 万円を 2 件、計 100 万円)

(1) 意思伝達装置の導入促進のための簡易型 VOCA ソフトの開発

熊本保健科学大学 准教授

佐々木 千穂 50 万円

(2) ALS 患者ご本人と家族・ケアテーカーのためのコミュニケーション支援システム (自声を用いた音声合成システムの音質向上、脳波・心拍を用いた心的情報 no の伝達)に関する研究

芝浦工業大学工学部 教授

石井 朱美 50 万円